

# 平成7年度 和歌山県文化功労賞

いけ だ みつぐ  
池 田 貢 (式守 伊之助)

住 所：埼玉県草加市

出 身 地：和歌山県和歌山市

生 年：昭和10年

## ◎業績及び経歴

昭和21年11歳で上京し大相撲の春日野部屋に入門、行司見習木村貢として初土俵。昭和36年十両格に昇進、昭和38年3月に木村善之助と改名。昭和52年幕内格に、平成3年に三役格に昇進して、平成7年1月に第29代立行司式守伊之助を襲名し、現在に至る。

初代式守伊之助は明治4年(西暦1764年)に行司となり、その名は立行司の名跡として現在まで受け継がれてきた。立行司は行司の最高位で、横綱の取組みを裁き、横綱土俵入りの行司役も果たす角界を指導していく重要な地位であり、優れた人格、識見が要求される。

日本の伝統文化である相撲の行司として50年もの長きにわたり尽力され、相撲文化の向上発展に大きく寄与された。

和歌山県出身としては、初の立行司である。